



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.29 12月号
2012年

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

師走の出来事

年末年始で何かと忙しい時期だと思われそうですが皆様いかがお過ごしでしょうか。日本では12月は1年の締めくくりということで仕事など業務が慌しかったり、クリスマスや大晦日などのイベントがあるため、特別な月というイメージがあります。カンボジアのお正月は4月なので、日本のように年末という感覚はなく、せわしい月という感じはありません。ただ、キリスト教徒でないのにクリスマスを騒ぐのはカンボジアも日本と同じようです。

今月のSAJ Farm 通信では、最近あった様々な出来事についてお伝えします。

1. 10月に田植えをした稲

10月中旬のカンボジア視察ツアー後に2期作(1年の間に2回お米を作ること)の検証を行うため田植えをしましたが、現状は写真の通り花の時期も終わり、稲が頭を垂れてきました。現状では、1月の中旬から下旬に稲刈りの予定です。ちょうどワタミフードサービス(株)様やワタミの介護(株)様の方のツアーに当たるため、稲刈りを体験していただく予定です。



花が咲き終わった稲

2. SAJ Farm敷地内の宿舎の建設について

10月の末に着工した農場敷地内の宿舎が、建設の大詰めを迎えました。宿舎自体は完成し、残すところ水回りや配線工事を行うのみとなっています。宿舎では発電機を回して電機を起こします。1月初旬には完成すると思います。赤いレンガの2階建ての建物で外からも非常に目立ちます。



建設中の宿舎

3. レモングラスの出荷が始まりました

10月から収穫、乾燥を始めていたレモングラスを1cm大に裁断し日本に向けて出荷しました。お茶への加工処理のため1cmに裁断するのですが、こちらに適当な道具がなく、ワタミ手づくりマーチャンダイジング(株)様に協力して頂き、工場の工務の方に廃材等を活用してレモングラスを裁断するための道具を作っていただきました。また、倉田ペッパー様に協力頂きコショウと一緒に日本に送り届けました。船が日本に到着するのに2週間かかるそうです。年末、日本の港に船は到着します。お茶が出来たらぜひワタミ外食店舗で飲んで頂きたいと思います。



1cmに裁断したレモングラス

4. お米を精米しました。

9、10月に収穫したお米を乾燥後、袋に入れてそのまま保管していましたが、今回、ブロンペンで精米を行いました。精米したお米は真っ白でふすまも見当たらず、非常に良い状態です。

しかしながら精米の過程で割れてしまった破碎米も多く出てしまいました。お米は含んでいる水の量が多いと、精米の過程で割れてしまうそうです。品種によっても割れる量が違うそうです。お米の1作目を刈る9月はまさに雨季のまただ中です。お米は乾燥がどうしても甘くなりがちです。昼間干していても突然スコールがやってくればシートをたたんで取り込まなければなりません。昼夜を通して湿度が高いということもあります。より良いものを作るためには課題がまだまだたくさんあります。今回精米した良いほうのお米は孤児院へ、破碎米と米ぬか、もみ殻は農場に保管しています。破碎米は鶏のえさに、ぬかともみ殻は堆肥原料にするためです。孤児院の子どもたちが、田植え～収穫まで作業を手伝ってくれたお米なので、きっと美味しいと思います。



精米し袋詰めしたお米

5. 鶏について

12月に入り雨季も終わり、鶏の状況も落ち着いたのですが、一つ事件が起きました。前日の晩、鶏舎に鍵をかけてから帰ったのですが、翌朝出勤し、鶏を外に出すために鶏舎の扉をあけに行ったところ、一羽の親鶏と抱いていた卵10個が見当たりませんでした。鶏舎の中や周辺を点検してみましたが、どこか壊れている場所があるというわけでもなく、最初は動物が侵入して被害にあったのではとも考えました。しかし動物に襲われたのなら親が抵抗して羽が飛び散るなどの痕跡があるはずですが、そう考えもう一度確認すると、扉の鍵をかけてある状態でも大人の力で無理やり引っ張れば、何とか小さな子どもが入れる隙間が開けられることに気づきました。住田事務局長には赴任前から何度もカンボジアでまず気をつけなければいけないことは、物を盗まれないことだといわれていたのにもかかわらず、今回の事件が起きてしまいました。なかなか鶏が増えず、**S&J Farmの鶏**、試行錯誤をしている矢先のことでもあります。ただ、これは私たちがまだ地域に溶け込み切れていないという表れなのかもしれません。同じ轍を踏まないよう、鶏舎の改善は致しましたが、夜の見回りの強化と地域の人々とのコミュニケーションがもっと必要であると身にしみて感じています。

編集後記

最近毎日レモングラスの裁断をしているため、ひじが腱鞘炎になってしまいました。レモングラスの増産のために人を増員したいところですが周辺も農繁期のため人が集まらない状況です。管理人さんの子供たちにアルバイトをしてもらってなんとか頑張っています。地元の人に働いてもらうことはS&J Farmの目的の一つである雇用対策につながります。また、結果的に今回の鶏の件のようなことも少なくなると思っています。